

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494



核兵器廃絶を願って (第13回新春たこあげ大会。1月15日、夢の島にて)

被爆者が求めているのは、原爆被害に対する「国としての償い」なのです。被害に対する補償は、同じ被害を起こさせないための第一歩です。原爆被害者援護法は、国が原爆被害への補償を行うことによって、核戦争被害を「受忍」させない制度を築き、国民の「核戦争を拒否する権利」をうち立てるものです。原爆被害者援護法の制度は、在外被爆者、外国人被爆者、さらに核実験被害者などに対する補償制度の根幹となるものです。また、一般市民の戦争被害に対する補償にも道をひらくものだと考えます。

原爆被害者援護法の制定によって、核兵器否定の理念を確立することは、日本が被爆国として果たすべき国際的責務です。

原爆被害者援護法を制定してこそ、日本の核兵器廃絶の訴えは、世界の人々の共感をうるものとなるでしょう。

ふたたび被爆者をつくらないために。

「国家補償の原爆被害者援護法」を、今すぐに！  
△日本原水爆被害者団体協議会の「原爆被害者の基本要請」より▽

## 来館者の声から

私は父が三・一ビキニデーにいったことではじめて第五福竜丸のことをしりました。それで一回みてみたいなあと思いました。東京へきてみれるなんて思ってもい

ませんでした。このいろいろな資料や写真をみて福竜丸のことが本当によくわかりました。それから放しや線のこと前より少しくわしくなったような気がします。ありがとうございます。愛知県一宮市 早川みどり。

私はここへ五、六回も来たことがあります。一年二年とたつてい

## 草の根は訴える・平和への努力

第五福竜丸乗組員・大石又七

政府も、ことしは核軍縮の年にすると言っておられる。私は思う。医者の言葉でいえば、早期発見、早期治療。でも、もう手遅れだ。残念なことをしたと思う。

いまそういうのなら、なぜあのビキニ事件のとき(日本の憲法からみても、最もよい立場でアメリカとソ連の間に入って核軍縮に努めるべきだったと思)、国民もあれだけ反対・廃絶を叫んだのに、政府はアメリカの核実験に協力する等と、おまけに仲間の久保山無線長が亡くなっ

た翌日に、さかなでするようなことをいのでしょう。これが高度な政治的判断というやつでしょうか。良心と金もうけは両立しないと

思う。日本もお金が増えた分、それだけ良心がだんだん減っていくように思われてならない。平和をとなえること、それを実行行動することは、これからだんだん大変だ、と思う。

自分にできることは何だろうと考える。中学校の文化祭等で福竜丸展示館に呼び出され、子供たちに当時の話をしたとき感じた。ビ

くにつれ、館内はとてまざびしうです。広島やさがさきもたいへんな目に合い、なぜか同じ悲しさがこみあげてきます。私は子供だからなにもできないけれど、いつでも心の中でこの悲しいひびきを思っています。ここではたらいっている人たちもガンバッテ下さい。そして、いつまでもいつまでもいせつにのこしておいて下さい(亀戸 大竹)。

キニ水爆事件もさることながら、海とか船への関心は、子供たちには強い。言葉や文字だけで話すより、物が目の前にあり、そこから話す方が目が輝く。そんなことから、展示館に来られない人たちにも、模型船をつくり、必要な所へはこちらから船出し、事件の持つ大切な意味を訴えることができるのでは、と。小さなことだけど、知らずに通りすぎる人が多くなった昨今、できる限りの努力を続けていきたいと、ワイシャツにアイロン

をかけながら考えている。  
△毎日新聞労働機関誌「われら」一月号より転載▽

## 編集後記

▼展示館では連日七、八人の「落合組」の担当者によって工事が始められている。その内、二人は船大工さん。木造船作り一筋の大ベテランだが、今後工事をすすめる中で、福竜丸を建造した和歌山県古座の船大工さんらの協力も請うとのこと。一方、福竜丸の模型を制作中の焼津の石原さんは、すでに模型を完成させた大石又七さん、専門家の宮内晴美さんらのアドバイスを得たいとのこと。大石さんは模型のひとつを和光中学校に贈りたいと申し出ている…。今年も福竜丸をめぐる、平和を願うさまざまな人々の交流の輪がさらに広がります。

▼今月は福竜丸だよりと共に日本被団協の「原爆被害者の基本要請」をお送りします。是非お読み下さい。

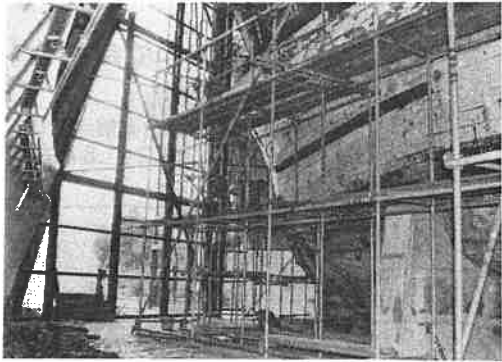
△お詫び▽「核兵器禁止をねがう科学者フォーラム」の要旨報告の一部に誤りがありましたことをお詫びします。熊取敏之氏報告(79号)の好球菌は好中球、プリンストンの国立技術研究所はプリンストンの高級研究所の誤りでした。

### 核兵器廃絶への誓いこめ

まぐるも「泳ぐ」——新春たこあげ大会開く

青空がいっぱいにひろがる快晴の一月十五日。夢の島の第五福竜丸展示館前で、第13回新春たこあげ大会がひらかれた(協会主催・東京都後援)。

「平」和」とクラス全員の数だけの連風をいっしょうけんめいあげた江東区北砂小学校五年一組をはじめ約二百人が、展示館前から広い円型の競技場にひろがって思



い思いにたこをあげ、核兵器廃絶と第五福竜丸の保存への決意を新らたにした。

尾っぽもなく背びれと胸びれで微妙にバランスを保つという、焼津マグロだこも、前日わざわざ焼津から持参した参加者によってなんとかおよぎ、被爆四十年核

### 展示館前広場に「工事村」出現

事務所も移転 船体修理はじまる

一月十六日、一年間の予定で、第五福竜丸の船体の本格修理がはじまった。施行・東京都、監督指導・文化財建造物保存技術協会、工事担当・落合組。一月十日、平和協会を含め四者で協議された修理方針によると、外板・甲板の解体と取り替え、龍骨全体の補強、船首のかさあげ、船内全面支柱の増設、床面の解体と平坦化など、永久保存のための全面工事。外板などは番号をふり一枚一枚はがし

兵器廃絶」と大書した尾っぽの方が本体よりも大きいとう、たこもあり従来以上に盛況。厳重な審査では「卒業にむけ一路ばく進だ」と書いた百枚余の連だこを展示館の屋根高くあげた地元小学校の六年生のクラスが一等賞。出版社から贈られた数々の書籍・カレンダーなどの賞品を一等から四等までみんなが胸いっばいにかかえて大歓声。東建従のみなさんの心づくしの「暖かいおでん」のサービスに舌鼓も打った。

内部に新材を補強、再び古い外板を張るなど難工事が予想される。館内の展示物・展示ケースも全て撤収、船の囲りには足場が作られた。展示館の裏手には、一年間余の工事に対応して資料保存室一棟と、二間四間の仮設事務所が建てられ、二月一日引越しを完了した。工事中も閉館することなく安全に留意しつつ見学者に一層ていねいな説明と重点的な展示物をつくろうといま奮闘中。

### 第五福竜丸平和協会第63回理事会決定事項(概略)

▼日時 85・1・21(月)午後0時半〜3時▼会場 神田・学士会館▼参加理事 三宅泰雄(委員長)、楡山義夫、斎藤鶴子、猿橋勝子、田沼肇、本多喜美。

1. 第62回理事会議事録承認
2. 活動報告(略)
3. 当面の活動方針
  - (イ) 一月十六日より一年間の予定で開始された船体の本格修理とその対応。二月下旬、都が設定する記者会見を含む方針発表に際し、協会も会長談話等発表し、その意義を広く国民に訴える。期間中は閉館することなく、増大する展示館見学と期待に応えるよう全力をあげる。
  - (ロ) 三・一ビキニ事件記念集会の開催。協会主催で二月二十八日、江東区で記念集会(映画と講演)をひらく。焼津の「中央集会」にも参加。
  - (ハ) 資料室建設の促進。船体修理とも対応し新しい条件をさぐりつつ田沼理事を中心に対都交渉を強める。
  - (ニ) 写真集の完成と普及。最終稿確認。一月末完成次第、館内外での宣伝・普及に努力する。
  - (ホ) 焼津市からの資料貸与等については対処する。

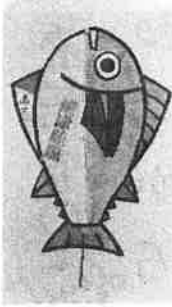
### 焼津市民の心と手で福竜丸コーナーを

#### 歴史民族資料館、七月オープン

焼津市三ヶ名に七月、焼津市文化センターが完成される予定。文化センターは文化会館(ホール)、図書館、歴史民族資料館の複合施設で、焼津市にこれまでになかった大規模なもの。民族資料館は古代から現代までの歴史の流れを追った資料館で、一角に第五福竜丸コーナーが設けられる。コーナーには、焼津市がこれまで保管していた「公文書」乗組員の手記・手紙、漁協関係文書、福竜丸の模型事件当時の写真パネルなどが展示

### 焼津の空にマグロ風

「昔は一航海三カ月。今は早くて一年。漁師のいない町は活気がなくなる。焼津にマグロ風を上げて不景気も飛ばしたい」——焼津マグロ風の制作者は焼津市焼津在住の山田孝さん(44)。本職は中華料



焼津マグロ風

心と血の通うコーナーに地元市民の間では、福竜丸コーナーをさらに充実した内容にし、焼津市の誇れる平和の財産にしたいと考え、焼津市民みんなの心と手で、第五福竜丸コーナーをつくりましょう」と運動が始められている。具体的には事件当時の資料の寄付、資料収集活動を広く国民に訴えている。

### 焼津

理屋さん。山田さんは以前から和風に興味を持っていたが、二年前、焼津にふさわしいものをと、マグロ風を考案した。マグロ風は尾ビレが「足」の役目をする。色は藍色。大きさは手のひら大から畳三枚分まで。マグロ風が観光土産の少ない焼津の「名物」のひとつになることが山田さんの夢である。



約七〇本のろっ骨。一本、一日がかりの仕事だった。オープンまで四カ

### 「福竜丸」模型作りも急ピッチ

歴史民俗資料の第五福竜丸コーナーの「目玉」は長さ約三メートル(縮尺1/10)の福竜丸の模型。石原鉄次郎さん(焼津市浜当日在住)が市から模型の制作を依頼を受けたのは去年の七月。体調が悪く一度は辞退したが、地元で作れないのは恥と考え承諾した。石原さんは以前、木造船の建造の仕事をした経験はあるが、模型作りは始めて。作業場は安全を考へ火の気は全くない。材料はひの木。すでに骨格は完成。木造船の構造が見てわかるように、左舷は板張りをしない方針。



月半。「始めたからには焼津の意気を示し頑張りたい」と石原さん。

### 三月一日、焼津で吟行句会——新俳句人連盟

三月一日、焼津で新俳句人連盟主催(久保山忌句会共催)の一泊焼津吟行句会が開かれる。以前より焼津で句会を開きたいとの意見が久保山忌句会の実行委員会の中で出ており、今回実現のはこびとなったもの。

三月一日当日は、十時に焼津に集合。募参行進・記念集会に参加し、その後句会を開く予定。吟行句会の監事田中夕霞さんは、「一月に下見に初めて焼津に行き、地元のいろいろな人と交流が出来て大へん良かった。今回は会長の古沢太穂も参加する予定。当日の句会に期待したい」と。



# 3・1ビキニ事件記念集会

●ビキニ水爆被災31周年・広島・長崎被爆40周年

ヒロシマ・ナガサキ・ビキニをくりかえすな

放射性降下物「死の灰」による第五福竜丸乗組員の被ばく、マーシャル諸島民の被ばくは、「核の冬」とともに、起りうる核戦争における人類絶滅の姿を鮮烈に象徴した。とどまるところない核軍拡によって、いまや日本列島は、不沈空母ならぬ、一億総国民を乗組員とする第五福竜丸にされかねない。広島・長崎から40周年！核戦争阻止・核兵器をなくせ、いま、ひとりひとり全力をあげて立ちむかおう。

とき：1985年2月28日(木)午後6~9時  
ところ：江東区文化センター・展示室(ホール横)  
江東区東陽4-11-3, 地下鉄東西線東陽町下車 徒歩1分  
TEL. 644-3111

●講演：『廃船、第五福竜丸の訴えつづけたもの』(原題) 玉造仁一氏 (NHK制作技術局「核戦争後の地球」スタッフ)

●映画：記録映画『廃船』(1969, NHK制作)  
夢の島のごみの中に「廃船」。第五福竜丸はあった。沈没前の船は、何を訴えていたのか。何か人々を保存の運動へつぎ動かしたのか。80分の記録は語る。このスタッフによって「核戦争後の地球」(1984・NHK)も作られ、反響は広がった。

●当時のニュース映画(日経、NHK)も上映の予定。●玉造君あいエフ也

このとき、第五福竜丸展示館では、新年とともに、一年間の工期で第五福竜丸の本格的修理が開始された。朽ち果てようとするその身にムチうって、核軍拡競争の停止・核兵器の廃絶を訴えつづける船にいま新しい航海を！第五福竜丸は人類の未来を啓示する、その願いをこめて。

主催・第五福竜丸平和協会  
江東区夢の島3-2 第五福竜丸展示館 TEL. 521-8494



編集・第五福竜丸平和協会  
A5判・一一二頁  
写真・図版一一〇点  
定価・千二百円  
発行・草土文化

写真集  
1月31日発売

○ビキニ水爆被災から31周年。はじめて作られた写真集。簡明な解説と迫真の写真で事件の全容を伝えるとともに、原水爆禁止運動の誕生、第五福竜丸の保存運動をえがく。いま、船は私たちに何を訴えるのか。母と子で見る、のシリーズの一冊。



●目次から 太平洋のただなかで 1954年春 巨大な火の玉と白い灰 水爆か！ 乗組員全員が入院 日本中をまきこんだ放射能の恐怖 不安におののく焼津の町 死の灰の分析 科学調査船俊龍丸の派遣 太平洋の放射能汚染 ふりはじめた放射能雨 乗組員東京へ けんめいな治療 久保山さん逝く 世界中に衝撃ひろがる 爆発した国民の怒り- 原水爆禁止署名運動へ ビキニ水爆被災から14年- 東京夢の島 被災者への慰謝料と船のその後、保存運動はじまる 第五福竜丸展示館の建設 展示館うちそと ある日の展示館 ロングラップ島の被ばく者を訪ねて 略年表。

# 母と子でみる第五福竜丸